

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

水質科

平成12年10月10日

第27報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	1		
(藍) <i>Microcystis wesenbergii</i> *	1		
(藍) <i>Anabaena spiroides var. crassa</i> *	6		
(藍) <i>Anabaena affinis</i> *	4		
(藍) <i>Anabaena flos-aquae</i> *	2		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	100		
(珪) <i>Melosira granulata var. angustissima</i>	62		
(珪) <i>Cyclotella stelligera</i>	20		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	80		
(緑) <i>Kirchneriella sp.</i>	40		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	440		
(緑) <i>Scenedesmus circumfusus</i>	20		
(緑) <i>Spondylosium sp.</i>	17		
(藍) 藍藻綱	14	1.7	12.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	182	22.7	20.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	1.2	0.3
(褐) 褐色鞭毛藻綱	80	10.0	15.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	517	64.4	51.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	803	総体積	8.65E+05
種類数	14	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

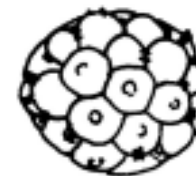
動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Nauplius</i>	20

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Pompholyx sulcata</i>	20

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

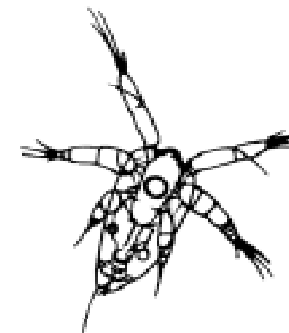
植物プランクトン第1優占種



Coelastrum cambricum
(ケラスツルム)
緑藻綱

シノピウムは球形であり、大抵32細胞からなる。各細胞は外方に向かって1本の短い截頭突起を出している。

動物プランクトン第1優占種



Nauplius
(ノウプリウス)
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。
中央に円盤状の口を有する。

コメント:

植物プランクトンは緑藻のケラスツルム カンブリウムが多くなった。この種は琵琶湖では以前から大きな細胞数で見られてきた種で、本年度は北湖では9月から増加した。